＜バッティング＞

　バッティング練習は様々な種類の素振りを行い、正しいフォームの習得から始めます。数をこなすことも重要ですが、まずは正しいフォームでしっかり振り切ることが大切だと考えています。素振り後はスタンドディーで、９つのコースに分けて軌道を意識し、強くミートできるように振り分けていきます。この際、ライナー性の強い打球を打ち、飛距離を伸ばしていくようにしています。続いて、コース打ちです。投手役が投げるのは外角と内角のボールを「外・外・内」の順番で打ち込んでいきます。外のコースと内のコースでは打つ時の体の使い方が違うので、反復練習で体の使い方を覚えていきます。最後はフリーバッティングです。投手役が本気で投げる球を打っていきます。常に試合を想定しているので投手も打者も真剣勝負です。バッティングは生徒が一番楽しめるメニューです。そのため、他の練習メニューより時間を長くかけています。